

新型インフルエンザ対策について

新型インフルエンザの国内発生に対応し、大崎市では5月16日に「新型インフルエンザ対策本部」を設置し、次のように当面の対策を決定しました。市民の皆さんには、新型インフルエンザに対する正しい情報をもとに、慎重に行動し、不要不急の外出を控えるなど自らできる感染予防の実践をお願いします。

また、これまで以上に、こまめに手洗い・うがいをすることや、マスクを着用するなどの予防を徹底するとともに、万が一の場合に備え、各家庭において2週間程度の食料品や日用品の準備をお願いします。

なお、発熱やせきなどのインフルエンザのような疑わしい症状が出た場合には、保健所内の発熱相談センターに電話で相談してください。仮に、感染していた場合に、医療機関で感染を広げてしまう恐れがありますので、直接、かかりつけの医療機関への受診はしないでください。

当面の対策

発生前	発生時
<ul style="list-style-type: none"> ●通常のインフルエンザ対策と同様に手洗い、うがいの励行やせきエチケットに心がけてください（詳しくは5月中旬に配布したチラシをご覧ください）。 ●学校休校、不要不急の業務縮小が行われる場合があります。市からのお知らせや新聞・テレビ等にご注意ください。 ●食料品、生活必需品等の準備（できれば2週間分）をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ●要援護世帯（ひとり暮らし高齢者、障害者等）に医療・福祉の確保を含めた支援を行います。 ●食料品、生活必需品等を状況に応じて市民への配分も行います。 ●感染拡大防止のため、マスク着用、外出自粛等にご協力ください。 ●本人、家族が発症した場合、まず発熱相談センターに電話で相談してください。 ●自宅療養時の家族感染に十分注意してください。 ●医療の確保のために不要不急の受診を自粛するなど協力をお願いします。 ●集会・催し物等開催延期、学校等の臨時休校、地域活動への協力をお願いします。

相談窓口

相談窓口	電話番号	相談時間
宮城県新型インフルエンザ24時間対応窓口 (宮城県保健福祉部内)	022-211-2675	24時間体制
発熱相談センター（宮城県大崎保健所内）	91-0714	8時30分～17時 (平日のみ)
大崎市生活相談窓口 (大崎市役所健康推進課内)	23-5311	8時30分～17時 (平日のみ)

問い合わせ

健康推進課	☎ 23-5311
松山総合支所保健福祉課	☎ 55-5020
三本木総合支所保健福祉課	☎ 52-2114
鹿島台総合支所保健福祉課	☎ 56-9029
岩出山総合支所保健福祉課	☎ 72-1214
鳴子総合支所保健福祉課	☎ 82-3131
田尻総合支所保健福祉課	☎ 38-1155



健康増進計画推進委員会委員（古川まちづくり協議会会長）和久 雅芳 氏

20数名の市民の率直な意見交換で、よくもこれまでの計画書が作れたものだと関心しました。

本当の計画の真価が問われるのはこれからです。それぞれのまちづくり協議会の中ではもちろん、プランを作った皆さんが「まちづくり」の先に立って進めていかなければならないことが多々あると思います。

それぞれのまちづくり協議会でも、健康増進計画の中にある内容を全部含めていくことはできないと思いますが、例えば、うちのまちづくりでは「高齢者の集まる場所を確保して、さびしがっている高齢者をなくそうと考えている」とか、できることから始めようの精神で、皆さんと一緒に進めたいと思っています。



◀グループに分かれて意見を出し合うワークショップ形式で計画の策定を進めました。

②家族のアクションプラン
次は「私」を「私たち家族は」に置き換えて、家族で何が出るか相談してみよう。「月に1度は親子で一緒に食事をつくる」といった具合に。

③地域や職場のアクションプラン
ほかにも「家族」だけでなく「地域」や「職場」などに健康づくりについて話し合っ「これなら出来そうだ」というものをアクションプランにして取り組んでいただきたいのです。

④合言葉は「できることから始めよう」
初めは簡単なことから。確実に実行できるプランを立てましょう。

どの目標からでも、同時にいくつもの目標に取り組んでもかまいません。自分のペー

スで取り組みましょう。皆さんのアクションプランは、これからさまざまな保健事業を通して集約し、計画の中に市民のアクションプランとして取り込んでいきます。

社会全体で支える
仕組みづくり

健康づくりは自らの取り組み、自らの行動がきわめて重要ですが、一人だけで健康づくりに取り組むことには困難が多く、家族、地域、学校や職場、そして行政など、社会全体で支える仕組みづくりを推進します。

すべての市民が、健康で豊かな人生を送ることができるよう、行政はもとより、市民地域や関係機関が一体となって健康づくりについて考え、行動することを推進していきます。

みんなで目指す目標

9 地域づくり

- ①地域を構成するあらゆる主体が集い、共に考え、楽しく行動する機会を増やします
- ②各種委員、団体等が連携・協力して事業展開できる機会を増やします
- ③地域の人材を活用する機会を増やします
- ④地域行事に家族で参加する家庭を増やします
- ⑤地域情報を提供する機会(場)を増やします

8 高齢者の健康づくり

- ①高齢者が地域で集まれる場を増やします
- ②地域で自ら参画し活動する高齢者が増やします
- ③趣味を持っている高齢者が増やします。
- ④仲間と歩く高齢者が増やします
- ⑤食事を楽しむ高齢者が増やします
- ⑥情報を読み取り活用する高齢者が増やします
- ⑦大崎の文化、大崎の郷土料理を若い人に伝える高齢者が増やします
- ⑧高齢者支援ボランティアを増やします
- ⑨高齢者が参加できる運動の場を増やします

7 およこの健康づくり

- ①子どもをほめる親を増やします
- ②子どもの気持ちに添う親を増やします
- ③親に感謝する子どもを増やします
- ④育児をサポートする父親を増やします
- ⑤家族に対して「ありがとう」を言える人が増やします
- ⑥家族とのふれあいの時間を持つ人が増やします
- ⑦子育て支援情報を利用する人が増やします
- ⑧子どもを見守る人が増やします
- ⑨予防接種を受ける人が増やします

市長コラム
天・地・人



新型インフルエンザ
慌てず！恐れず！侮らさず！

五月十六日、ついに国内で豚インフルエンザから変異した新型インフルエンザへの感染者が発生し、拡大しています。四月末にWHO（世界保健機関）がメキシコで発生を確認してから瞬く間に世界中に広がり、世界的大流行（パンデミック）が起きつつあります。現在の世界は航空機など輸送機関の発達により、パンデミックが起きやすい状況になっております。

今後いつ、どこで発生しても不思議ではない状況にあると認識しなければなりません。

しかし、慌てることも、恐れることもありません。新型インフルエンザは今のところ幸いなことに毒性は弱く、毎年の季節性インフルエンザと大差なく、治療薬も十分あり、ほとんどの患者は軽症で回復しております。豚肉やその加工品を

食べても感染するわけではありません。過度に不安がることはありません。冷静な行動と対応を心がけていただきたいと思います。

市としては、対策本部と生活相談窓口を開設して、全組織を挙げて感染防止と速やかな対策を講じてまいりますので、今後発する情報にご注目とご協力をお願いいたします。健康保持に努め、基本的な衛生管理の励行、異常時には冷静な対応を望みます。

ただ、だれも免疫を持たないウイルスですので、警戒を緩めてはなりませんし、油断は禁物です。侮ってはいけません。ウイルスが変化して毒性を強めなるとも限りません。

今後とも市民の皆さまの不安解消と感染拡大の阻止、風評被害の防止に全力を挙げて取り組んでまいります。

大崎市長 伊藤 康志